

ほっぷ  
すてっぷ

# じゃ JAんぷ

2022

1

Vol.275



特集1

JA県下統一誌面  
農業とSDGsで  
つなぐ豊かな未来

# 新春のごあいさつ

令和四年の輝かしい新春を迎え、謹んでお祝いを申し上げます。

明けましておめでとうございます。昨年中は組合員の皆様をはじめ、地域の皆様方そして関係機関・団体の皆様からJA並びに(株)JAシンセラに対し多大なご支援、ご協力を賜り衷心より深く感謝申し上げます。

新型コロナウイルスの感染者数は減少傾向にあります。また、新たに変異株のオミクロン株が11月30日に国内で初めて確認されるなど、まだ予断を許さない状況であります。

さて、昨年を顧みますと、長引く超低金利政策により信用・共済事業は大きく影響を受け、収益の減少を余儀なくされており、この対策として令和3年4月から4支所を拠点とする新体制を敷き、費用の削減に取り組みしました。また、コロナ禍で消費の減退を招き、特に販売事業や旅行事業がその影響を強く受けました。JAを取り巻く事業環境は益々厳しさを増しておりますが、組合員と共にこの難局を乗り越えるため、最善を尽くして参ります。

営農部門におけるリンゴの輸出事業は、平成21年のタイを皮切りにこれまでベトナム、台湾、香港、カナダなどの国と地域へ取り組んでお

りますが、新たに昨年の2月4日、アメリカへ輸出しました。リンゴのアメリカ輸出は日本では11年ぶり、岩手県では実に24年ぶりとなります。

一方で、4月の異常低温により凍霜害が発生し、特にリンゴを中心に大きな被害を受けました。その対策として、7月上旬にりんご部会長と共に、盛岡広域振興局・盛岡市・矢巾町・紫波町に対し、生産者への支援要請活動を行い、行政から支援を受けることになりました。JAでは生産者への農薬代助成や被害果販売にかかる経費助成等の支援策を講じました。また、令和3年産米価の大幅下落に対し行政とJAが生産者へ支援し、さらにJAは、組合員の次期作への生産意欲の喚起を図るため、肥料高騰対策として令和4年産水稲用窒素・基肥・側条肥料・追肥の予約購入代金の7%助成などの支援策を講じました。

このような中、新たな取り組みとしては、JA岩手県中央会の指導のもと、JA管内でホームセンターのDCMホームマック6店舗を展開するDCM(株)と7月21日に事業連携契約を締結しました。ホームセンターとJAの事業連携は全国

で6例目、県内では初めてとなり、今後も組合員や地域住民へのサービス向上を目指します。

環境や状況に応じたJA運営を心掛けて参りましたが、今後においても組合員の所得増大・農業生産の拡大を基本に、地域農業の振興と組合員・利用者へのサービス提供を通じて地域の活性化に貢献できるよう、本年も役員一丸となって総合力を発揮して参る所存でありますので、皆様のご支援ご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

終わりに、令和3年の組合員や組合員組織の素晴らしい活躍についてご紹介いたします。

○ 毎日新聞社主催「第48回毎日農業記録賞」の一般部門で松本直子さん（盛岡市）が最優秀賞・中央審査委員長賞を受賞しました。

○ 農林水産省などが主催する「令和3年度豊かなむらづくり全国表彰」において、農事組合法人室岡営農組合（矢巾町）が東北農政局長賞を受賞しました。

○ 長年率先して申告納税制度の普及・発展に努め、納税思想の向上に貢献したとして、JA紫波地域青色申告会副会長の佐藤正八さんが盛岡税務署より表彰されました。

○ JA岩手県青年組織協議会主催「第57回JA岩手県青年大会」JA青年組織活動実績発表大会の部で高橋徹さん（紫波地域青年部）が優秀賞を受賞しました。

○ JA岩手県女性組織協議会主催「令和3年度JA女性組織活動体験発表会」で和山つぎ子さん（紫波地域女性部志和支部）が最優秀賞を受賞しました。

○ JA岩手県中央会主催「令和3年度岩手県家の光大会」の記事活用体験発表の部で立花みつよさん（矢巾地域女性部）が最優秀賞を受賞しました。

○ JA岩手県女性組織協議会主催「令和3年度フレミズ岩手県作文コンクール」で七海佳哉さん（盛岡地域フレッシュ部厨川支部）が優秀賞を受賞しました。

また、職員では

○ JA全農主催JAグループTACパワーアップ大会2021において、玉山正彦職員（営農販売部担い手対策課営農経済相談チーム）がTAC表彰を受けました。

○ JA全中主催「令和2年度（第34回）広報活動優良JA選定ーJA広報大賞」において、JAいわて中央が総合の部で準大賞を受賞しました。

令和四年 元旦

岩手中央農業協同組合

代表理事組合長 浅沼 清一

本年も  
よろしくお願ひします。



代表理事組合長  
浅沼 清一



代表理事専務  
佐々木 雅博



常務理事  
菅原 弘範



常務理事  
畠山 進



代表理事  
中田 徳康

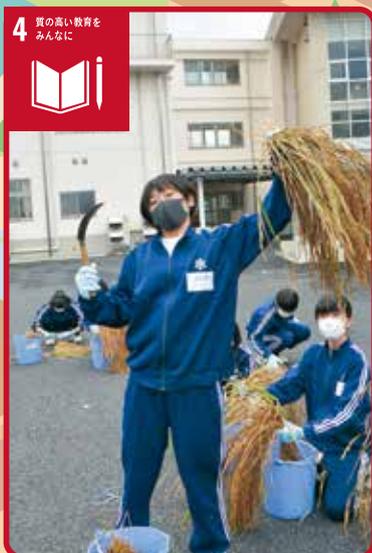


常勤監事  
大川 隆

外 役職員一同

JA県下統一誌面

新しいわて・いわて中央  
いわて花巻・岩手ふるさと  
江刺・おおふなと・いわて平泉



# 農業とSDGsで つなぐ豊かな未来



SDGsは、すべての人間が将来にわたって豊かに安心して暮らすための取り組みです。

農業は食料を生産するだけでなく、環境保全や地域社会への貢献などSDGsの活動にも深く関わっています。

今回の特集では、豊かな未来を創るために取り組む農業者や団体を紹介します。

## 持続可能な開発目標「SDGs」

持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals) とは、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない」ことを誓っています。SDGsは世界全体で取り組む普遍的なものであり、JAグループとしても積極的に取り組んでいます。

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標





12 つくる責任  
つかう責任



15 緑の豊かさも  
守ろう



8 働きがいも  
経済成長も



11 住み続けられる  
まちづくりを



4 質の高い教育を  
みんなに



## 地元園児にリンゴ栽培伝える JAいわて中央



盛岡市・下太田 藤澤 孝一さん (73)

私は小学校の音楽教師を長年勤めた後10年前に就農し、そこから毎年地域の保育園の園児を招いてリンゴ収穫作業体験を行っています。祖父の代から始めて約100年になり、今年は4力所の保育園から園児約200人を招き、日頃から一緒に作業しているリンゴ農家仲間やお手伝いの4人で子どもたちに教えました。体験では分かりやすい言葉で収穫の仕方をゆっくり説明することや、体験中にケガの無いように環境整備を心掛けています。

体験を通じて子どもたちに農業に興味を持ってもらい、農業の未来も明るくなってくれることを期待したいです。将来農業に携わるなど、直接結びつかなくても、リンゴを思い浮かべた時に木の上で赤く実っている情景や自分の手で収穫した経験が、少しでも記憶として残ってくれたら嬉しいですね。今後も体力の続く限り、活動を行ってまいります。

12 つくる責任  
つかう責任



## 地域農業の未来を担う

JA新しいわて



山田町・豊間根 集落営農組織「ゆたか農産やまだ」  
のうさん

山田町内の水田の耕作放棄地を借り受けて大豆の栽培管理、および地域の担い手支援に取り組んでいます。昨年の作付は26ha、目標収量は10a当たり150kgで、一部課題は残るものの、おおむね良好な結果となりました。

設立してから2年経ちますが、関係機関・団体の指導をいただきながら、作業内容や役割分担など会員同士で話し合い、着実に活動を進めています。

将来的には法人化も視野に入れており、耕作放棄地の解消や耕畜連携に向けた取り組みをさらに進めていきたいと思えます。震災後の影響や高齢化など、さまざまな問題がありますが、力を合わせ、将来にわたって農業が続けられる地域を目指します。

8 働きがいも  
経済成長も



## 働きやすい環境作りを目指して

JAいわて花巻

農業に興味がなかった私ですが、農業を始めたくなり両親や地域の先輩方にお世話になりながら育てられ、就農して23年が経ちます。約15年前からは作業の人手が足りずに雇用を始めました。働いてくれる人を自分で声を掛けて探していましたが、令和元年にJAいわて花巻が無料職業紹介「アグリワーク」を開所したので利用しています。

我が家では通年雇用が難しいため、繁忙期の時期雇用になってしまいますが、年齢を問わず農業で働いてみたいという意欲のある人たちを対象に雇用創出に取り組んでいます。子育て世代でも働きやすいように、土日休みや急な休みにも対応します。いろいろな作業がある中で、その人に合った適性作業を見極め、働きやすい環境作りにも取り組んでいます。

いなほ とおる  
花巻市・葛 稲葉 透さん (58)



11 住み続けられる  
まちづくりを



## 幼い頃の記憶に残る風景を未来につなぎ

JA岩手ふるさと



ささきのりや  
奥州市・胆沢 佐々木 憲也さん (37)

令和元年に就農し、現在水稲4ha・露地ピーマン10a栽培しています。農業を始めてみると、奥深さや大変さを身をもって感じ、丹精込めて栽培したというのに、自分の努力とは無関係に下がり続ける米の価格に落ち込んだこともありましたが、それでも自分が育てたお米や野菜が食卓に届き、おいしいと喜んでもらえることに幸せや手応えを感じています。

私が生活する地区では、水田地帯の中にエグネ(屋敷林)で囲まれた民家が点在する「散居集落」といわれる景観が広がります。日本の原風景といわれる美しい田園風景を丁寧に農地管理・維持する農業を実践していくことで、幼い頃から記憶に残るこの風景を未来の子どもたちに残していきたいです。



## 地域に根付く農業とブランドを未来につなぐ

JA江刺

平成29年に就農し、水稻の栽培と牛の飼養に取り組んでいます。地域では稲わら・もみ殻を家畜の餌や敷料にするといった循環を基本とする「江刺型農業」や、「江刺金札米」をはじめとする農畜産物ブランドが当たり前のものとして根付いています。ずっと昔からこの土地で農業に向き合い、ブランドを築き、次の世代につなぎ続けてきた先人たちのおかげで今があることを思うと、感謝と誇りを感じます。

私の家族は、農業や地域に向き合いながら、私を育ててくれました。私も安全・安心でおいしい農畜産物を未来につないでいきたいですし、農業を仕事の一つとして知ってもらい、好きになってもらえるような情報発信にも取り組んでいきたいです。

奥州市・江刺 おいかわ たかし 及川 貴士さん (31)



## 地域と共に紡ぐ伝統

JAおおふなと



おおふな と し り つ ひ こ ろ い ち し ょ う が っ こ う  
大船渡市 大船渡市立日頃市小学校

大船渡市立日頃市小学校は、地元で盛んな米作りについての理解を深め、「食」の大切さを学ぶため、同校近くの学習田で農業体験活動を行います。昭和58年から続くこの活動は、地元の宿八幡会会員の協力のもと行われる伝統行事で、JAおおふなとの水稻苗提供により、今年度は5月に「ひとめぼれ」の苗を植え、10月には親子行事として収穫作業を行いました。

子どもたちが実際に米農家の方々から指導を受けることができるのは、お米を作る大変さ、そして生きることに欠かせない「食」の大切さを学べる貴重な体験です。農業体験活動を通して、ご飯が食卓に並ぶまでにはさまざまな手間がかかり、多くの人たちに支えられているということを改めて実感しました。



## 将来の農業の担い手に期待

JAいわて平泉



いちのせき し り つ さ く ら ま ち ち ゅ う が っ こ う  
一関市 一関市立桜町中学校

一関市立桜町中学校では、令和2年度に岩手県フラッグシップ米「金色の風」の栽培に携わり、達増拓也知事との田植えや稲刈りを行った他、バケツ稲に初めて取り組みました。今年度は、さらなる取り組みを目指し「JAいわて平泉×桜町中学校アグリ・タッグ・プロジェクト」として通年での農業体験学習における指導やサポートをJAが行い、次世代を担う生徒たちの健全育成支援に取り組んでいます。2年生104人は、一関地方の農業について学んだ他、圃場の石拾いや田植え、リンゴ農家での管理作業や収穫作業を行いました。技術科の時間では「金色の風」のバケツ稲にも取り組みました。

体験学習を通じて食と農の関わりや地域農業に理解を深めていきたいです。



特集Ⅱ

# 第46回 JA岩手県大会

メインテーマを「組合員とともに活力ある『いわて農業・地域共生』の未来を創る」と題し、第46回 JA岩手県大会が12月3日、盛岡市の都南文化会館キヤラホールで開かれました。特集Ⅱでは第46回 JA岩手県大会の模様と、決議された主な内容についてご紹介します。

## 変化する新時代への対応 次世代への道しるべを

第46回 JA岩手県大会には、県内JAの組合員組織の代表者や役員、オンラインでの参加者を含む約700人が参加しました。

主催者を代表し、小野寺敬作JA岩手県五連会長が「持続可能な岩手農業・地域共生社会の確立を目指して、食と農を基軸として地域に根ざしたJAとしての役割を改めて確認し、JAいわてグループ一体となって大会決議の実践に取り組んで参りたい」と力強くあいさつしました。

大会では、テーマである「組合員とともに活力ある『いわて農業・地域共生』の未来を創る」に基づき、次期JA岩手県大会実践期間（令和4（6年）の取り組みを決議。

「国民への食料の安定的供給と農業・農村の保全・維持」「デジタル化やSDGsへの取り組み」「JA経営基盤の維持と組合員組織強化」に、組織をあげて取り組んでいくことを確認しました。

また、大会の最後には、農政運動の強化にかかる特別決議を満場一致で採択しました。

同大会は3年ごとに開催されるもので、決議された内容はJAいわてグループの向こう3年間の指針になる重要なもの。

今後は、現状の農業・地域社会・JAをめぐる情勢や課題を踏まえ、生産・消費の両面で食料の安定供給や農業・農村の保全・維持に向けた役割発揮を目指します。また、情報通信技術の積極的な導入やデジタル化への対応、SDGsを意識した事業活動を展開し、組合員との積極的な対話により、JAと組合員が一体となってJA経営や組織の基盤強化に取り組めます。

# 着実な実践と振り返り、組合員との対話と評価のサイクルを継続実施

## ”5つの柱”および具体的取組施策

### ① 持続可能な食料・農業基盤の確立

- 多様な農業者による地域農業の振興
- マーケットインに基づく生産・販売事業の強化
- 持続可能な農業・農村に資する取組みと政策の確立・推進
- 組合員参画による事業運営、営農経済事業体制の構築

### ② 持続可能な地域・組織・事業基盤の確立

- 組合員の積極的なJA事業・活動への参加促進
- 農家組合組織の活性化
- 青年組織・女性組織の活性化
- JA総合事業を通じた生活インフラ機能の発揮
- デジタルを活用した活動の促進

### ③ 不断の自己改革の実践を支える経営基盤強化

- 持続可能なJA経営基盤の確立・強化
- 早期警戒制度の改正も見据えたガバナンス・内部統制の確立と経営の健全性確保

### ④ 協同組合としての人づくり

- 協同組合らしい人づくり
- 組織基盤の確立に向けた人づくり
- 経営基盤の強化に向けた人づくり
- 事業の高度化に対応しうる人材育成

### ⑤ 「食・農・地域・JA」にかかる国民理解の醸成

- JAグループ一体となった国民理解の醸成に向けた取組み
- SDGsへの貢献を意識した取組み
- 効果的な伝達手段の選定
- 組織内の情報共有

## 中長期を見通した取組むべき方針

### I

国民への食料の  
安定的供給と農業・農村の  
保全・維持の取組み

食料の安定的供給や県下農業・農村の保全・維持などJAいわてグループの役割を發揮します

### II

社会変化・要請に伴う  
デジタル化、  
SDGsへの取組み

農業ICT技術の積極的な導入や組合員のパソコン・スマートフォンの活用・講習等デジタル化への対応と、日常よりSDGsを意識した生産・事業活動を展開します

### III

JA経営基盤の維持と  
組合員組織強化の  
取組み

組合員との積極的な対話により、JA・組合員が意思疎通をはかり一体となってJA経営や組織の基盤強化に取り組めます

## 環境変化 考慮すべき

コロナ禍を  
契機とした  
価値観・行動の  
変容

農業生産  
基盤の  
急激な変化

人口減少  
高齢化の  
進展

デジタル化の  
進展

持続可能な  
社会実現への  
要請

## めざす姿

① 持続可能な岩手農業の確立 ～「純情産地いわて」の確立～

② より豊かでくらしやすい地域共生社会の確立

③ 食と農を基軸として地域に根ざした協同組合の確立と役割發揮

# JAいわて中央の 無料職業紹介所



米穀や野菜・果樹、畜産など管内では1年を通じて農業が盛んに行われていますが、農家の人手不足が未だ解消されていないのが現状です。また、求職者においても、ライフスタイルの多様化により様々な働き方が求められています。

## ニーズに応じた働き方を 雇用と労働両面をサポート

JAは、農家組合員の労働力確保を目的に平成29年2月に無料職業紹介所を開設し、農業で働きたい人と農業の労働力を求める農家のマッチングや雇用にかかわるサポートを行っています。

今月の特集Ⅲでは、同紹介所の取り組みや利用者の声などをご紹介いたします。

JAの無料職業紹介所は、労働力を求める農家と農業で働きたい人の橋渡しとなり、希望する労働条件を確認し、JA担当者同行のもと、両者と面談を行うなど幅広くサポートを行っています。

特に昨年は、コロナ禍の影響によりダブルワークを求める求職者が増え、開設以降初めて求職登録者数が求人数を上

回るなど、同紹介所への需要が高まっています。その中で、農繁期のスポット的な労働力を必要とする農家と長期安定雇用を求める求職者のマッチングをさらに拡充するため、求人者間でのリレー雇用を提案するなど、ニーズに応えるマッチングを目指し取り組んでいます。

営農販売部担い手対策課の吉田達人課長は「季節雇用は

もちろん、繁忙期のみ・早朝のみといった期間限定の求人など年間を通して様々な求人を見ております。ご自身の作業が忙しい時期は人を雇用し、作業に余裕がある時は人を手伝う働き方も可能ですので、興味がある方は紹介所まで気軽に相談ください」と話しています。



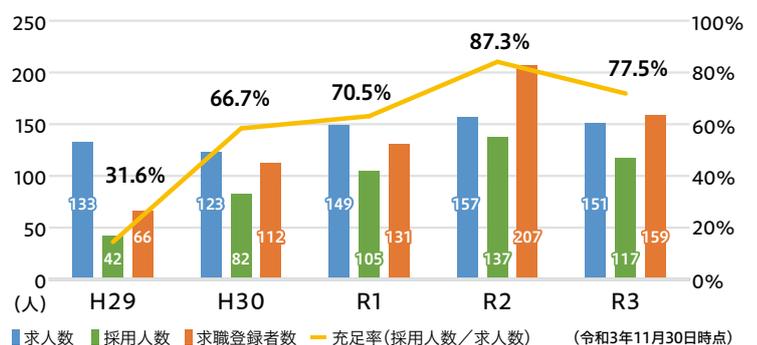
労働支援の面でも  
評価をいただいています！

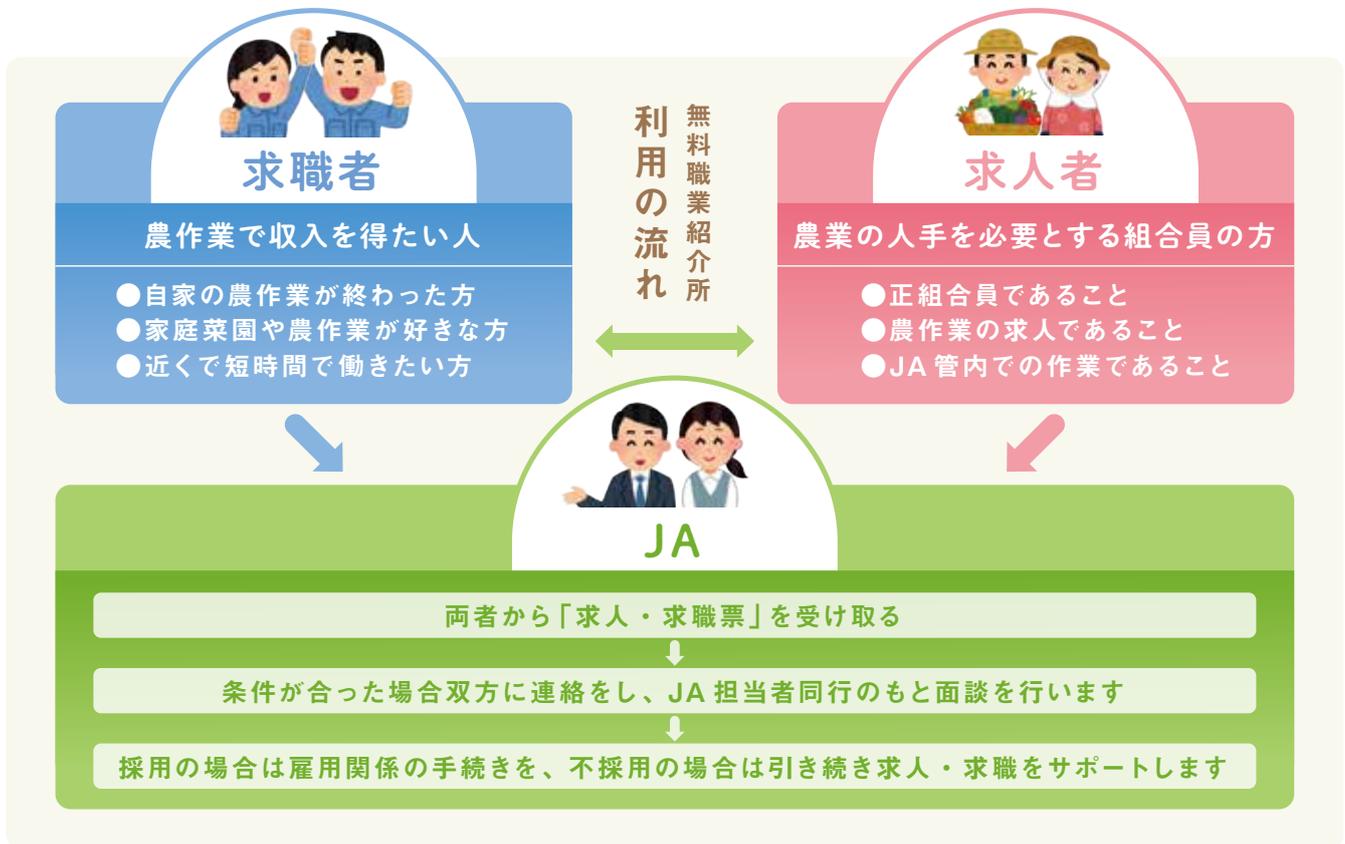


岩手中央農業協同組合労働保険事務組合は厚生労働省の認可を受け、事業主(雇用農家)から委託された労働保険等の事務処理を行っています。

その取り組みにおいて、「労働保険未手続事業一掃業務」を実施し、その成績が特に顕著な事務組合として評価され、このほど会長表彰を受けました。全国に9,387ある事務組合のうち令和3年度は全国で55事務組合に表彰状、69組合に感謝状が授与され、岩手県では当JAを含む3団体が感謝状を拝受しました。

求人・求職・採用者の人数と充足率





## 利用者インタビュー

求人者 藤澤 秀昭さん(栽培品目:ネギ・レタス・ブロッコリー)



労働力が必要なときにタイムリーに人手を確保したいと思い、知人の紹介で一昨年からJAの無料職業紹介所を利用しています。これまで学生や主婦の方、自分の都合の空いた時間を利用して来てくださる方などのべ10人以上を紹介いただき、ネギの収穫・箱詰め作業など、季節ごとに数品目の作業を手伝っていただきました。

普段からJA担当者の方にご相談して労働力を均等に確保しながら、集まった皆さんで役割分担をしてお互いに無理のないように作業を進めることを心掛けています。こうして出会えたご縁を大切に、働いてくださる方に少しでも気持ちよく働いてもらえるような作業現場を目指し、農業を続けていけたらと思っています。



40代 女性の方

農作業に興味があり応募しました。子どもが学校に行っている間などライフスタイルに合った働き方ができることが良いと思っています。初めてで慣れない作業もありますが、教えていただきながら楽しんで作業をしています。



## 働いている皆さんの声

コロナで自営業がほとんどできない状態だったのですが、その期間でもこうして農作業ができ良い経験になりました。



50代 男性の方

## 求人者(雇用農家)向け説明会を開催します!

今年雇用の予定がある方や、雇用する上で労働基準法に関わる内容などへの理解を深めたい方などお気軽にご参加ください。

紹介所利用が初めての方も大歓迎!



### 矢巾会場

日 時 2月8日(火) 14:00 ~ 16:30  
場 所 JA 矢巾地域営農センター2階 大会議室  
申込締切 2月4日(金)

### 紫波会場

日 時 2月10日(木) 9:30 ~ 12:00  
場 所 JA 紫波支所2階 研修室  
申込締切 2月4日(金)

お申し込み・お問い合わせ

JAいわて中央無料職業紹介所(紫波地域営農センター内)  
TEL: 676-3346 / FAX: 672-1595 (受付時間 平日 8:30~17:00)

JAのホームページから求人・求職の最新情報をご覧ください。





## 僕たち・私たちが育てた“**美米**”お米です!

### 盛岡市立土淵小学校5年生米販売



児童らは看板などの装飾の他にも、絵や文字で飾った米袋も手作りして来店者にPRしました

盛岡市立土淵小学校の5年生61人は12月9日、児童らが1年かけて栽培したうるち米の販売会を盛岡市前潟のイオンモール盛岡で行いました。児童らは、「食べた人に“つやがあつてうまい!”と言ってほしい」との願いを込め、栽培した米に「土淵美(う)米(まい)」と名付け、販売しました。

米は児童らが田植えや稲刈り体験を通じて栽培したもので、JA盛岡地域青年部厨川支部が支援をしています。児童は「大切に育ててきたお米なので、おいしさを味わってほしい」と笑顔を見せました。

## 正月に向けた華やかな門松が完成!



### 都南地域農家組合生活部 ミニ門松講習会



彩りを見ながら丁寧に飾り付ける参加者

JA都南地域農家組合生活部は12月17日・18日の2日間、管内4会場でミニ門松講習会を開きました。

17日に盛岡市の下永井公民館で開いた講習会には農家組合員ら16人が参加。参加者はJA職員から教わりながら、粉ミルクの空き缶にわらを編んだ「こも」を巻き付け砂を入れて土台を作り、そこに竹を挿して松や南天などを飾り付け、1時間半ほどかけて門松を作り上げました。参加者は「縄を結ぶのが難しかったが、竹の面がきれいに見えるようにこだわって作り、上手に完成してよかった」と笑顔を見せました。

## 今後の牛飼いのヒントに



### 畜産生産部会 和牛技術研修会を開催



松本氏の講演に聞き入る参加者ら

JA畜産生産部会は12月8日、JA紫波支所で令和3年度和牛技術研修会を開き、部会員ら約120人が参加しました。

研修会では開業獣医師で(有)シェパード中央家畜診療所代表の松本大策氏を講師に招き、「繁殖成績向上に向けた母牛管理と子牛の疾病対策」と題し、子牛や母牛の免疫・ストレスなどの健康面の話題を中心に講演しました。参加者は「お産の介助などについて実際の動画を用いて説明いただき勉強になった。今後の飼養管理に活かしていきたい」と話しました。

年末需要に向けた栽培管理を呼び掛け

12 つくる責任  
つかう責任

管内各地で開催  
小松菜出荷目ぞろえ会



出荷規格を説明するJA担当者

JAは12月9日、管内3会場で小松菜の出荷目ぞろえ会を行いました。気温が高く推移し生育が進んでいることから出荷に合わせて生育管理することや、出荷時の注意点などについて確認し、JA担当者は「出荷期間が短いため、需要期に出荷できるよう栽培管理を計画的に行ってほしい」と呼び掛けました。

関東地区で正月料理の雑煮などに欠かせない食材である小松菜は、年末にかけて需要が高まることから、JAでは年末需要に向けた出荷を15年以上前から取り組んでいます。

新幹線でスピード輸送！

12 つくる責任  
つかう責任

盛岡から東京へ  
旬のリンゴを即日販売



サンふじと「はるか」を合計40ケース（1箱10kg）出荷しました

JAは12月9日、管内産のリンゴを東北新幹線で直送し、東京都内で即日販売を行いました。取り組みは今年9月に初めて実施し、今回で2回目。東京青果(株)と(株)澤光青果、JR東日本、JA全農いわての協力で実現しました。リンゴはJR盛岡駅を午前9時6分発の「はやぶさ108号」に積み込み、午後には澤光青果の阪急百貨店大井町店で販売されました。

JA担当者は「産地直送の良さを付加価値としてPRし、管内産のリンゴをより多くの方に味わってほしい」と話しました。



JA SISTERS  
NEWS

隔月で姉妹JAの取り組みを皆さまにお届けします！

今月は福岡県

JA筑前あさくら

〱 姉妹JAとは？ 〱

JAいわて中央は宮城県の「JA新みやぎ」、愛媛県の「JAえひめ南」、福岡県の「JA筑前あさくら」と姉妹JA提携を結んでいます。自然災害など不測の事態が起きた際に互いに助け合うことや相互交流を深めることなどを目的としています。



高齢者の生活支援で地域を活性化！

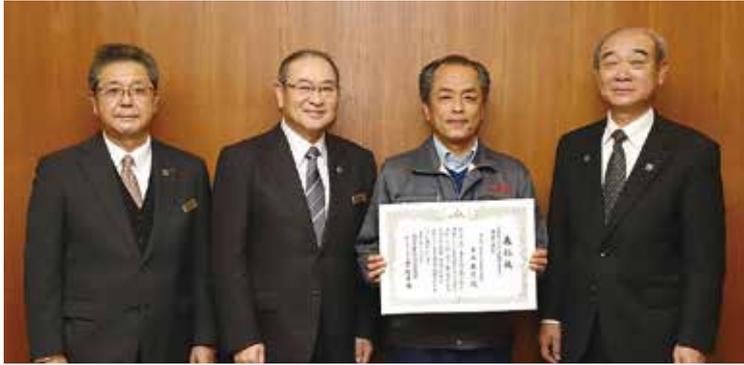
JA助けあい組織「100歳元気かい」発足

JA筑前あさくらは、高齢者の充実した生活支援を目的とした助けあい組織「100歳元気かい(会)」を発足しました。会のメンバーは地域のボランティアで、現在26人が登録。地域の人が互いに助け合うことで、地域の活性化を目指します。

10月中旬、各支店で年金支給日に合わせて初めての活動を行いました。支店を訪れた方にメンバーが声を掛け、血圧測定や健康体操、脳トレーニングなどを実施し118人が参加しました。江藤和子会長は「JAだからこそできる生きがい支援活動をしていきたい」と笑顔を見せました。



お揃いの黄色いポロシャツで元気に活動します！



常勤役員に受賞を報告する玉山職員(右から2番目)

## 担い手

### TACパワーアップ大会 玉山職員が受賞

J A全農が主催するTACパワーアップ大会において、日頃の優れた活動が評価された全国の6 J AとJ A職員8人が表彰され、当J Aの担い手対策課営農経済相談チー

ム・玉山正彦職員が表彰を受けました。同大会は優れた取り組みを共有して全国のTAC活動に生かし、担い手の課題解決につなげることを目的に開催されています。



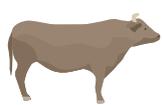
## 評価のポイント

### 法人とタックが次世代へつなぐ取り組み

- 1 大型法人に対し、Z-GISによる圃場情報の共有化およびリモートセンシングによる水稲の生育診断を提案し、適期作業による米品質の向上に貢献
- 2 法人の労働力不足に対し、Z-GIS・Z-BFMによる経営の見える化を提案し、事業継承や作付面積の適正化、正確な圃場管理といった課題解決に向けた取り組み
- 3 法人が抱える繁忙期の人材確保の課題に対し、Z-BFMによる年間労働力のシミュレーションを踏まえた人材確保の支援を行うことで、法人が希望する時期での収穫を可能として、収穫量の増加に貢献

## タック TACの役割

地域農業の担い手を訪問し、担い手の意見や要望をJAグループの事業に反映させ地域農業の発展を支援していく活動です。TACの活動は、農業生産振興や担い手の経営改善に資する資材・技術の提案、農産物の販路拡大といった取り組みから、労働力支援、事業継承支援等、地域農業の維持発展に向けた活動にまで拡大しています。



## 第19回



### いわて中央畜産共進会

いわて中央畜産共進会実行委員会は11月24日、第19回いわて中央畜産共進会を(株)いわちくで開催しました。同共進会は管内の優良な種畜及び肉畜を集め、その展示と評価を行い、家畜の増殖と飼養管理技術の改善を促し、畜産農家相互の研さんと生産意欲の高揚を図り、もって畜産振興に寄与することを目的としています。褒章者は右記の通りです。

## 褒章者の皆さん(敬称略)

### 肉牛の部

- 【最優秀賞】……………(株)畠山畜産〈紫波〉
- 【優秀賞】……………(株)畠山畜産〈紫波〉
- 【優良賞】……………松川 茂〈紫波〉
- ……………細川 志伸〈紫波〉

### 肉豚の部

- 【最優秀賞】……………杉浦 まき子〈紫波〉
- 【優秀賞】……………アベファーム〈紫波〉
- 【優良賞】……………七木田ファーム〈紫波〉
- ……………JA全農北日本くみあい飼料㈱
- ……………岩手農場〈矢巾〉

### 特別賞

- 【盛岡市農業振興連絡協議会長賞】……………石川 毅
- 【紫波町農業振興協議会長賞】……………畠山 和子
- 【矢巾町農業対策協議会長賞】……………村松 功

FARMING INFORMATION

園芸

今月の担当

営農販売部園芸推進課 大野智



令和4年産レタス・ネギの種まきが始まります！

◆レタス

●種まき

トンネル露地・普通露地ともに1月下旬より開始です。セルトレー育苗(128セル)を基本とし、1穴1粒まきとします。

●育苗

発芽適温は20℃で、高温になると発芽不良となるので注意が必要です。なお、育苗器を利用する場合は20℃で1日半を目安としてください。生育適温は15℃以下で生育が低下、停滞します。かん水は午前中に行い、1回のかん水を隅々まで丁寧に行いましょう。

◆ネギ

●種まき

7月下旬～8月下旬収穫(品種…ホワイトスター・夏)

扇パワー等)は1月中旬より、9月上旬～11月中旬収穫(夏扇パワー、ホワイトソード、森の奏等)は3月上旬より開始です。どちらもセルトレーまたはチェーンポットを使用します。

●夏どり

セルトレーは128セルを使用し、1セルあたり3粒まき。チェーンポット使用の際は1穴2粒まきとなります。

●秋冬どり

セルトレーは200セルを使用し、1セルあたり3～4粒まき。チェーンポット使用の際は1穴2～3粒まきとなります。

●育苗

発芽適温は15～25℃となっており、育苗器を利用する場合は20～25℃で4～5日を目安としてください。

令和3年産 米検査買入状況並びに等級比率(12月16日現在)

地域	うるち					
	1等	2等	3等	規格外	集荷量計	計画数量
紫波	150,088	7,782	200	42	158,112	156,722
	94.9	4.9	0.1	0.0		100.9
矢巾	141,377	4,561	1		145,939	149,280
	96.9	3.1	0.0			97.8
都南	123,641	3,169			126,810	122,874
	97.5	2.5				103.2
盛岡	92,914	471			93,385	90,238
	99.5	0.5				103.5
JA計	508,020	15,983	201	42	524,246	519,114
	96.9	96.9	0.0	0.0		101.0
地域	もち					
	1等	2等	3等	規格外	集荷量計	計画数量
紫波	172,388	17,372	4,189	332	194,281	187,645
	88.7	8.9	2.2	0.2		103.5
矢巾	30,660	2,031	222	130	33,043	34,945
	92.8	6.1	0.7	0.4		94.6
都南	109	12			121	82
	90.1	9.9				147.6
盛岡	134	252	4		390	360
	34.4	64.6	1.0			108.3
JA計	203,291	19,667	4,415	462	227,835	223,032
	89.2	8.6	1.9	0.2		102.2

(上:30kg/個 下:比率%)

い。生育適温は15～20℃で、30℃以上、5℃以下で生育が著しく低下、停滞します。かん水は、数回に分けて底までたっぷり行いましょう。追肥は、種まき後ネギ専用培土使用の際は、40～50日頃からかん水を兼ねて液肥(400～600倍)で行いましょう。

年が明けて早くも次年度へ向けての栽培が始まります。お体には十分に気を付けて作業を進めて頂きますようお願い致します。

子牛市場情報(令和3年12月15日・中央家畜市場)

地区	頭数	最高価格	最低価格	平均価格	平均体重	前月比	
雌	紫波	10	769,000	556,000	671,300	290	13,879
	矢巾	5	704,000	637,000	664,800	292	21,086
	盛岡	7	680,000	602,000	641,000	263	-3,667
	JA計	22	769,000	556,000	660,182	282	8,782
	市場計	111	780,000	464,000	657,423	283	-9,777
地区	頭数	最高価格	最低価格	平均価格	平均体重	前月比	
去勢	紫波	23	805,000	446,000	655,217	310	1,956
	矢巾	14	724,000	483,000	615,357	299	-82,279
	盛岡	14	781,000	625,000	727,143	318	6,268
	JA計	51	805,000	446,000	664,020	309	-13,742
	市場計	190	923,000	368,000	684,989	312	-15,022

# 皆さまの“あんしん”を守る Webマイページに 登録してみませんか？



皆さまの生活に寄り添う、  
お守りになるように。

JA共济では、Webマイページ登録を  
おすすめしております。

こんなときに、皆さまの“あんしん”のお守りになります！

## 備えが気になったとき

24時間365日、いつでもスマートフォンやパソコンから、ご自身が加入している保障の内容を確認できます。



## 万が一のことがあったとき

突然の入院などで、JAからの連絡を受け取れなくなった場合でも、JAからご家族の方へご連絡できます。



## JAに相談したいとき

すぐに、JAに連絡を取りたいとき、JA共济アプリの「MyJA」から、スムーズに最寄りのJA店舗へ連絡できます。



登録するだけ！豪華賞品が当たる！



詳しくは  
キャンペーンサイトへ



21489001B6

ご登録時に「共济契約者番号」または「証書番号」の入力が必要となります。  
ご不明な方は最寄りのJA窓口・LAまでお問い合わせください。

紫波支所 ☎ 676-3619  
矢巾支所 ☎ 697-6888

都南支所 ☎ 638-0075  
盛岡支所 ☎ 659-0616



サン・フレッシュ都南さ

おでってくなんせ!



今年からは  
半ライスもセットで  
満足感のある  
一品です!



小枝店長

サン・フレッシュ都南

住所 〒020-0853  
岩手県盛岡市下飯岡21-180  
TEL 019-637-6801  
営業時間 9:00~18:00

Twitter



今月は

## サンちゃん食堂

サン・フレッシュ都南店舗隣の「サンちゃん食堂」では、冬季限定のひつつみ汁を好評販売中です! ひつつみには岩手県産の南部小麦を使用。地元で採れた野菜のうま味がたっぷりと染み出たスープで冷えた身体も芯から温まりますよ!

また、1月中は毎週土日に「加工品まつり」を開催します。パンやケーキ、お団子などが種類豊富に店頭並びますので、是非この機会にお買い求めください!

※ひつつみ汁は、食材の仕入状況によりご提供できない場合がございます

### イベント情報

最新情報はホームページやSNSをご覧ください

チキンまつり 1月15日(土)・16日(日)

種類豊富な部位を取り揃えて特別価格で販売します



## まちのスマイル

Vol. 05

矢巾町・煙山

立花 羽さん(37)・望美さん(37)のお宅

たちばな あさひ

左 立花 旭くん(4) 右 さくらちゃん(9)

小学校4年生のさくらちゃんは、おじいちゃんやお父さんと同じく歴史が大好き。「コロナが落ち着いたらお城めぐりをしたい」と目を輝かせながら、歴史学者になって新しい発見をするのが夢と笑顔を見せます。お姉ちゃんの横で恥ずかしそうに微笑む弟の旭くんは、車のおもちゃで遊ぶことが好きで、保育園ではお友達と一緒にかいじゅうごっこするのがマイブーム。将来の夢は消防士であるお父さんの背中を見ながら、「救急救命士になりたい」とにっこり話しています。

撮影を見守ってくれたお父さんやおばあちゃんは「『これになりたい!』と思うことを叶えて、元気で優しい子に育ってほしいです」とこれからの成長に期待を込めています。

二重マスの文字をA～Eの順に  
並べてできる言葉は何でしょうか？

応募方法

郵便ハガキにクイズの答え・郵便番号・住所・氏名・年齢、今月のテーマにまつわる話・誌面の感想をご記入の上、下記宛にお送りください。正解者の中から抽選で、JAやサン・フレッシュ都府で使える「農協全国商品券500円分」を5名様にプレゼント！

今月のテーマ

好きなお鍋

応募締切

1月28日 必着

送り先

〒028-3453 紫波町土館字沖田98-20  
JAいわて中央  
「JAんぷ1月号お楽しみクイズ」係

＼コチラから／



ホームページ

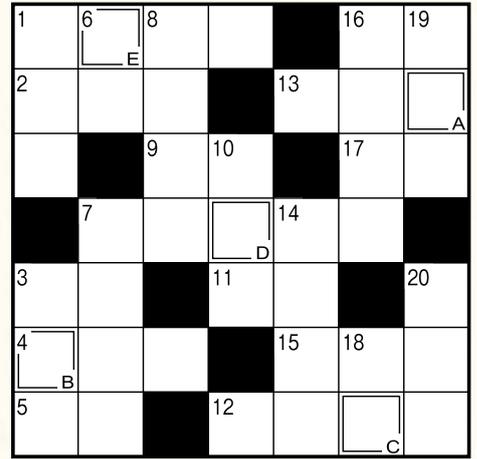
広報誌応募フォームにて受付 ▶

E-mail

kouhou3244@ja-iwatechuoh.jp

※ご記入いただいた個人情報、お便りコーナーへの掲載、並びにプレゼントの発送にのみ使用いたします。当選の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。

12月号の答え  
「プレゼント」



→ ヨコの力ギ

- ① 1月の第2月曜日は——の日。国民の祝日です
- ② 旅支度で、旅行かばんに——を詰めた
- ③ 下手な鉄砲も——撃ちや当たる
- ④ 北海道東部の市。自然豊かな湿原が有名です
- ⑤ 水が混じって軟らかくなった土
- ⑦ これが三つで三振
- ⑨ 土を盛り上げて作ります
- ⑪ 植物の葉や車の窓などに氷の結晶が付いたもの
- ⑫ 「住めば都」とか「猫に小判」とか
- ⑬ 果物——を使ってリンゴをむいた
- ⑮ 遠回りをすること
- ⑯ 初夢で見ると縁起が良いといわれる鳥
- ⑰ やっぱり自分の——が一番落ち着くなあ

↓ タテの力ギ

- ① オイルショックともいわれる——危機
- ③ 分度器で測ります
- ⑥ 栗の実のトゲトゲ
- ⑦ 春の七草の一つ。ダイコンのことです
- ⑧ 遊園地で——コースターに乗った
- ⑩ おでんに添える黄色い薬味
- ⑭ 年下の女きょうだいのこと
- ⑯ 屋外で行うことも多い教科
- ⑰ ミカンのものは手でむけます
- ⑲ おしゃれな——でランチを楽しんだ
- ⑳ 「オリオン」「おいぬ」「カシオペア」といえば

テーマ 今年を振り返って

皆様からのお便りをご紹介します！



毎回、生産者がいきいき頑張っている記事を読んで、嬉しくなります。高齢化が騒がれる農業ですが、経済的にも精神的にも魅力ある農業にし、もっと若年層が増えることを望みます。

(羽場・T/60歳)

私も農業に励む皆さんに元気を貰っています！誌面を通じてより多くの皆さんにその姿をお伝えできれば嬉しいです。

.....  
丑年の今年。年女であり、本厄でもあった今年。今年、さらに自

分の人生のこれまでを振り返り、これからの思いを馳せた一年でした。どう生きていこうかと思った時、やっと今の仕事を辞めて、次にチャレンジをする決心をしました。12年後の丑年、48歳に笑顔で今年のことを振り返れるよう頑張って生きていきたいと思った一年でした。

(日詰駅前・H/36歳)

次へのチャレンジを陰ながら応援しております。今年も、そしてこれからの生活が良いものになりますように！

農家ではないけれど、本誌を拝覧させていただいてとても毎月楽しみです。

(北日詰・C/66歳)

いつもご愛読いただきありがとうございます。今年も楽しく読んでいただける広報誌をお届けします！



JAいわて中央公式YouTubeチャンネルでは  
農作業動画やレシピ動画を配信中！



視聴は  
こちら



12月定例理事会が12月28日、紫波支所で開かれました。議決事項はございません。

理事会報告

# INFORMATION

いつでも、どこでも、手軽で便利！

## JAネットバンクのご紹介

インターネットから各種サービスをご利用いただけます

JAネットバンクでできること(一部抜粋)

### ● 振込・振替

全国のJA本支店および他行の国内本支店への振込・振替が店舗・ATMに来店不要でご利用いただけます。

### ● 税金・各種料金の払込み

Pay-easy(ペイジー)マークのある請求書・納付書のお支払いができます。

### ● 定期貯金

総合口座を対象とした定期貯金口座の開設、通帳式定期貯金(総合口座を含む)の預入等がご利用いただけます。

### ● ローン繰上返済

住宅ローン・マイカーローン・教育ローン等の案件明細照会、一部繰上返済予約等がご利用いただけます。

パソコン・スマートフォンからご利用いただけます

JAネットバンク限定

JAはネットで簡単・お得だぞう!

ご好評につき  
第2弾!

## 冬の定期貯金キャンペーン

店頭金利 **+** プラス

年 **0.05%**



キャンペーン期間 令和3年12月1日(水)～令和4年1月31日(日)

JAバンク 岩手

知って得する!

## 農業者年金

農業者の年金はサラリーマンと違い公的年金である国民年金のみです。厚生年金を受給するサラリーマン並の年金を確保するには、自分で厚生年金にあたる部分の年金を準備する必要があります。この部分として農業者には農業者年金があります。

- 農業者なら広く加入できる「**終身年金**」です。
- 加入で大きな節税効果!保険料は**全額社会保険料控除**の対象に。
- 若い農業者の方は特に! /
- 国庫補助で手厚い支援。1万円の自己負担で**2万円の積み立て**が実現!

※国庫補助を受けるためには下記の加入条件に加えて、「認定農業者、認定新規就農者であること」や「青色申告をしていること」等の要件が必要です。

下記3つの条件を満たしている方ならどなたでも加入できます! ※国民年金保険料納付免除者を除く



農業者年金の  
加入条件

国民年金  
第1号被保険者\*

年間60日以上  
農業に従事

60歳未満

詳しいお問い合わせ・ご相談は  
お近くの農業委員会・JAまで

紫波町農業委員会 ☎672-6875  
矢巾町農業委員会 ☎611-2542  
盛岡市農業委員会 ☎639-9034

配達灯油・軽油の注文は  
全農東北エネルギー(株)まで

ご注文は岩手広域配送センター  
☎0120-626-813

受付時間 8:00～17:00  
(月曜日～土曜日)

定休日 日曜日



ポリ缶  
2缶から  
配送致します



## 今月の表紙

よしだ かずひろ くみこ  
盛岡市津志田 吉田 和弘さん (59)・久美子さん (61)



お正月飾りのしめ縄やリースなどを作り、「<sup>かなえ</sup>叶工芸」の名でサン・フレッシュ都南や市内スーパー、さらに県外などにも出荷している吉田さんご夫婦。妻の久美子さんはお正月飾り製造業を営む親戚の手伝いをしていたことをきっかけに約30年前から携わり、現在は機械を導入してお手伝いの手を借りながら数種類のわら飾りを年間約20,000個作っています。吉田さんご夫婦のこだわりは岩手県産の「実をとらない青わら」\*を使用していること。青わらを使用したお正月飾りは希少性が高く、「国産の良さを知ってもらえたら」と制作に励んでいます。今後について吉田さんご夫婦は「わらを中心としたお正月飾りや岩手の習わしを込めた飾りを作りたい。手に取ってくださった方に、きれいな青わらで清々しいお正月をお迎えいただけることを願って、真心を込めながら夫婦で協力して作っていきたいです」と明るい新年の始まりに期待を込めています。

\*稲穂が実る前に刈り取り、わらとして使用するためだけに栽培されたもの

新鮮食材で  
楽しくクッキング  
— This month's recipe —  
今月のレシピ  
129杯目



## 洋風ブリ大根

### 材料 (4人分)

ブリ(塩を薄く振り1時間ほど置き、水気を拭いておく) … 切り身4切れ  
ダイコン(2cm幅のいちょう切りにして下ゆでする) …… 1/4本  
ゴボウ(乱切りにして水にさらしておく) …… 1本  
ホールトマト …… 100g オリーブ油 …… 大さじ2  
ニンニク(つぶしておく) … 1片 ローリエ …… 1枚  
モロッコインゲン(下ゆですて食べやすい大きさに切っておく) …… 2本  
パルメザンチーズ …… 適宜

### 【A】合わせだし

かつおだし …… 600ml 料理酒 …… 大さじ3  
塩 …… 小さじ1 みりん …… 大さじ3

### 作り方

- フライパンにオリーブ油をひき、ブリ、ダイコン、ゴボウ、ホールトマト、ニンニクを入れ、中火でブリの両面を焼き上げる
- ①のフライパンに【A】とローリエを入れ、落としぶたをして強火で煮汁がなくなるまで煮詰める
- 皿に②を盛り付け、パルメザンチーズを掛けてモロッコインゲンを飾り出来上がり

## 編集後記



渡邊

今年は36年に一度の運命年で、「与えられた環境ではなく自分の手で作り上げていく」と考えられる星である五黄土星と、「強い情熱で前に進む」干支である寅年を兼ね備えた「五黄の寅」とされています。私自身も前向きに新しいことに挑戦していく1年にできたらと思います。本年もどうぞよろしくお願いいたします！



佐々木

新年あけましておめでとうございます。私事ですが昨年末に甥っ子が誕生し、これまでにない特別な年末年始になりました。どうか心も体も健康で元気に育てほしいと願うばかりです。また、私も仕事を通じて子どもたちの健やかな成長を応援できるように、今年も頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします！

